

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成29年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	http://www.okk.or.jp

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分市大津町2丁目1番4号 平成28年4月1日～平成33年3月31日	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部 福祉保健企画課 TEL : 097-506-2620
-------	-------------------	--	-----------------	-------------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ペット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	[該当なし]
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたるときを除く。） ③12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル4.5 (5段階評価)	平成26年度	4.00	4.54	113.5%
	平成27年度	4.00	4.57	114.3%
	平成28年度	4.50	4.66	103.6%
	平成29年度	4.50	4.60	102.2%
利用者数 延べ利用者数 49,000人以上	平成28年度	49,000	51,166	104.4%
	平成29年度	49,000	53,537	109.3%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度	2,576	3,137	4,841	4,758	5,201	5,312	
	平成27年度	3,141	3,418	5,046	5,063	4,882	3,825	
	平成28年度	2,750	3,263	4,385	4,523	3,447	4,316	
	平成29年度	2,768	3,139	5,167	5,723	3,108	5,050	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度	6,141	5,957	2,304	3,239	3,761	2,064	49,291
	平成27年度	6,267	6,079	3,803	2,946	3,634	2,824	50,928
	平成28年度	7,154	7,472	3,969	2,840	3,419	3,628	51,166
	平成29年度	6,787	7,911	3,770	3,354	4,435	2,325	53,537

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	全研修会において受講者アンケートを実施 アンケート内容:内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 対象研修数:66 対象者数:22,357名 回答者数:21,375名 回収率:94.7%
	実施結果	研修会等のアンケートの評価レベルについては、4.60と目標数値を上回った。 ・最高:4.94 最低:4.12 平均4.60 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果 テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価は高く、評価レベルの平均値は4.6台をキープした。 ・意見についても、施設の整備・維持、職員の対応、研修内容、講師選定等に対し良好な評価を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
・エアコン(冷房)が寒い、(冬時期)室内が寒い等の空調に関する苦情		・エアコンを一時的に止めたり、換気の時間を短くするなどの工夫に努める。また膝掛けを準備している。
・モニターでの傾聴だったが聞き取りづらく、内容を把握しづかった。		・想定を超える受講申し込みがあり、テレビモニターを活用して2会場での開催となった。今後は広い会場を確保する。
・天候(積雪等)によって研修所まで行けない地域もある。駅等の公共交通機関の近くの会場で開催できないか。		・経費、職員負担等から難しい。天候を考慮し、研修会の開催を判断する。積雪等で欠席となる場合は代替措置も検討する。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① すべての研修会でアンケート調査を行い、また、各階の来館者の目に付きやすい場所に「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞く機会を設けている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、対応できるものから速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて、玄関入口の掲示場所に掲示している。</p> <p>② 民間の福祉事業者・事業所の大幅な増加に対応して、各種研修の案内について、社会福祉法人を中心とした紙文書から、各事業者・事業所あて直接電子メールで行うなど、広く、きめ細かく情報提供を行っている。</p> <p>③ 県内の福祉施設、企業等の要請に基づき、福祉用具や介護支援・自立支援型ロボットなどを福祉施設や地域、企業のイベントに合わせ展示を行った。また、参加者に対し介護ロボット・福祉用具の利用、活用方法の説明をすることにより、地域での普及・啓発に努めた。(12ヶ所:4,160名)</p> <p>④ 高齢者総合相談センターについて、認知症に関する困難事例等の相談が増加する中で、「認知症の人と家族の会 大分県支部」と連携した相談体制の充実に努めたほか、併設する福祉用具展示場に、介護ロボットコーナーを設置し体験型常設展示を行うなど最新鋭の福祉用具を展示し、福祉用具の普及啓発に努めた。また「おおいた県産福祉機器コーナー」を併設し、県内企業の福祉機器開発の促進を図った。</p> <p>⑤ 求職者の求職活動の参考資料として、「社会福祉施設ガイドブック」を作成・配布した。</p>
-------------	--

イベント等の充実	① 福祉のしごと就職フェアの開催〔8月6日(日)、2月10日(土)〕 参加者数624名 参加事業所 延べ161事業所 就職決定者数54名
	② 「センターまつり&げんきフェア2017」(県保健医療団体協議会と共催実施/11月12日) 福祉用具アイデア作品展、介護男子フォト&動画コンテスト作品展、福祉用具・介護ロボットの体験型展示会、福祉車両展、福祉体験・相談、子ども地球教室、講演会等の実施 参加者1,153名
	③ 介護男子フォト&動画コンテストの実施 介護職に対する正しい理解と重要性について情報発信するとともに、介護人材の確保を図る観点から、介護現場で活躍する男性を物語った写真や動画を募集し、優秀な作品の表彰、TV放送等を行った。 ・募集期間:7月上旬~9月20日 ・応募状況:写真の部…146点 15秒動画の部…14点 ・表彰式:「センターまつり&げんきフェア」に併せて実施
	④ 介護ロボットセミナーの開催(2月28日〔水〕) ・参加者数61名 ・機器と協力業者 ①見まもりシステム…(株)エイビス ②HAL(介護支援用:腰タイプ)…サイバーダイン(株) ③移乗サポートロボットHug TI…富士機械製造(株) ④ロボヘルパーSASUKE…マッスル(株) ⑤アシストウォーカーRT.I…RT.ワークス(株) ⑥服薬支援ロボ…ケアボット(株)

8. 管理に係る収支の状況

(単位:千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入額(A)		208,320	210,289	210,306	209,344
内訳	県からの委託料	154,599	153,044	152,528	152,528
	県からの委託料(別途委託事業)	42,094	40,590	41,779	43,565
	事業収入	484	484	484	354
	自主事業収入	7,871	8,781	9,377	9,099
	その他収入(繰入金)	3,272	7,390	6,138	3,798
支出額(B)		208,320	210,289	210,306	209,344
内訳	人件費	108,292	108,993	108,698	106,245
	維持管理費	32,608	32,169	30,726	31,392
	事業費(指定管理)	31,297	32,246	33,235	34,696
	事業費(別途委託事業)	36,123	36,881	37,647	37,011
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度							
	平成27年度			〔 該当なし 〕				
	平成28年度							
	平成29年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度							0
	平成27年度							0
	平成28年度							0
	平成29年度							0

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	<p>所長（嘱託） 副所長（嘱託）</p> <ul style="list-style-type: none"> 総務・人材部長（プロパー） 部員 13（プロパー1 嘱託10 臨時2） 介護研修・総合相談部長（兼副所長） 部員 7（プロパー1 嘱託4 業務援助2） 社会福祉研修部長（兼所長） 部員 5（プロパー2 嘱託2 魚務援助1） 							
	職員数 (H 29.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	5		18	3	2		28	

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	<p>① OJTにより、職員の接遇向上に努めた。</p> <p>② 研修講師との打合せ会議、研修企画協議など、職員の研修企画力向上に努めた。</p> <p>③ 大学・関係機関等が開催する専門研修へ積極的に参加し、専門知識及びスキルを深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材情報システム研修会（東京都） ・福祉人材センター業務・法令研修会（東京都） ・日本老年泌尿器科学会（東京都） ・電話相談京都ワークショップ日本電話相談学会（京都市） ・福祉用具研修2017in久留米（久留米市） ・介護ロボット普及事業 第1回連絡会（東京都） ・マッチング機能強化研修会（東京都） ・社会福祉研修実施機関代表者連絡会議（東京都） ・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会各術会議（千葉市） ・全国福祉人材センター全国会議（東京都） ・東京国際福祉機器展（東京都） ・九州ブロック介護実習普及センター代表者会議（鹿児島市） ・ノーリフティングに係る高知市視察（高知市） ・職業紹介責任者講習会（福岡市） ・福祉人材センター・バンク基幹職員会議（東京都） ・全国福祉用具相談・研修機関協議会（東京都） ・九州ブロック福祉人材・社会福祉研修実施機関連絡会議（福岡県春日市） ・全国介護支援専門員研修向上委員会（東京都） ・おむつフィッター1級研修（京都市） ・高齢者疑似体験インストラクター養成研修会（東京都） ・認知症介護実践研修新カリキュラム研修（福岡県春日市）
防災に関する研修・訓練	<p>① 年度当初に、「施設管理マニュアル」・「事故等対応マニュアル」・「新型インフルエンザ対応マニュアル」・「ノロウイルス対応マニュアル」の周知徹底を図るための職員研修を実施するとともに、平常時からの危機管理意識の保持に努めた。</p> <p>② 消防計画を職員に周知するとともに総合消防訓練（年2回）、救急法（人工呼吸・AED操作）研修会を開催し、緊急の際には、全職員が適切な対応ができる体制とした。</p>
安全対策等	<p>① 危険物の保管箇所については、施錠による厳重な管理を行った。</p> <p>② 防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。</p> <p>③ 危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。</p> <p>④ エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。</p>